

## 製造業

- ◇パン…学校給食パンは、衛生管理と異物混入などに充分気を付けて作業をしている。大手は全て機械であるが、中小は手作業が多く何回も人の手がかかるため、今後もなお一層注意をしていきたい。幾つかの工場がクレームにより営業停止になっており先行き不安である。子供たちの食育のため安心安全をモットーに頑張っているが、非常に細かいところまで指摘され、脱退希望が多くなっている。衛生安全設備、手洗いや食品器代のコスト、少子化で非常に苦しい。
- ◇味噌…4月からの消費税増税による消費の落ち込みが懸念される。価格転嫁対応として、全国味噌工業協同組合連合会にて消費税転嫁カルテルと外税の表示カルテルを締結し、業界全体で取り組んでいる。
- ◇酒…昨年間の課税移出数量は前年同月比95.1%と全国平均を下回った。1月は、前年比99.6%とやや低下。しかし当県も吟醸酒(111.9%)、純米酒(102.2%)は堅調な伸びを示している。全国の清酒輸出はH24年度89億円、H25年度105億円と着実に伸長。焼酎乙類はまだ持ち直しが感じられず、1月は86.5%に留まる。国際空港免税エリアでの國酒キャンペーンでの試飲販売は順調。清酒大手メーカーの値上げ発表後、当県蔵元も今年度中には各蔵元の値上げが完了するものと思われる。同時に消費税の増税分について、当業界として「消費税転嫁カルテル」を導入する。
- ◇納豆…製品価格は変わらないが、円安により諸材料・資材・光熱費その他、価格が大幅に上昇しており、大手メーカーといえども増収であっても減益になりそう。中小メーカーに至っては、減収・大幅減益となりそうである。業界にとっては大変厳しい状況が今後も続きそうである。
- ◇菓子…もともと景気の良くない月と言われており、週末は大雪・大雨と天候にも見放され、顧客の足も奪われ、売上は減少し景況は弱かった。
- ◇繊維製品(袋物)…ここに来て4月以降の見通しがあまり良くない。人件費もアップせざるを得ない状況で、各社、各得意先との交渉に踏み切る予定。もはや、加工賃をアップしてもらわないと経営上かなり苦しい企業も出てきた。
- ◇繊維製品(縫製)…期末にかけての需要が増加し売上高も増加。一部パート等雇用を増加させ対応しているが、人件費増は避けられず、収益には寄与していない状況。
- ◇木材…消費税増税前の駆け込み需要は落ち着きが見られた。市況は落ち着いたが品不足感が残っており価格も保合で推移した。今後は4月以降の需要後退であり、先行き不透明感が強く見られている。国産材製品は、原木供給回復もあり買い急ぎ傾向は緩和し、昨年と比べると一服感が見られている。樫土台角製品等に一部品不足が見られた。

- ◇プレカット…天候の影響で加工が3月に延びた物件が多く、目標をクリアすることができなかった。増税前の駆け込みも一段落し、3、4月は不透明な状況。
- ◇段ボール…消費増税に伴い前倒しで注文が入ってきている。スイカや花などシーズンではないケースの注文が入っている。2、3月は量的には増えるが、4月以降は数量が減るので、トータル的に増えているのか、現時点ではわからない。3月までは忙しくなると予想。
- ◇プラスチック製品…組合員の中の操業度は、ここに来てかなり開きが出てきている。特に(株)パレオ関連からの受注が主だった組合員は、先行きの見通しが立たないところも増えてきた。
- ◇焼物…震災から3年、未だに一部風評被害を払拭しきれていない部分がある。春の行楽シーズンを迎え、少しでも賑わいを取り戻すための努力をしたい。
- ◇鍍金…受注量は消費税アップを見越しての需要があり、前年同月比若干増えている状況。金属材料、その他の工業薬品とも大きな変動はない。
- ◇電化機器…当月の生産高は対前年同月比△6百万円となる852百万円(△0.69%)、自動車関連は対前年比5%増だが、総生産高は下期に入り右下がりの状況。一方家電関連は当月もマイナスの状況であるが、総生産高は微増の状況である。
- ◇自動車部品…組合員間で業績回復に格差あり。全体的に低調に推移しており、回復の兆しが見えない。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員7社中4社が売上増、3社が売上減となり、全体では前年同月比113%。発注先の消費税増税前の駆け込み需要に対する増産基調に変化なし。第1週末の大雪で10日の朝は道路が凍結し、従業員出勤に影響、大幅な生産性ダウン及び納品配車に大きな影響があった。第2週末の大雪情報に対しては同様の影響が予想されたため、15日(土)出勤日を休日に、22日(土)休日を出勤に振り替えて対応した。

## 非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は前年同月比10%の減少。建設業界の人手不足による工事の遅れも減少の一因と考えられる。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比4.10%の増。仕入単価が上昇しており、販売価格が高値となっている。
- ◇食品卸売…2月上旬はこの冬続いていた単価高から平年並みへの回復傾向にあったが、2度の大雪の影響により関東を産地とする野菜・果物の単価が再び上昇した。単価高及び消費税増税による消費者の買い控えが心配な状況である。
- ◇県南地区卸売…全体的に売上は減少傾向で、収益悪化となっている。

- ◇**東北地区共同店舗**…ニッパチ対策で、ポイントカード会員向けの特招会を企画したが、2週続いた週末の悪天候により客足が大きく落ち込み青色吐息。
- ◇**県央地区共同店舗**…2週連続の大雪で飲食関係を中心に売上昨対比を大きく落とした。消費税転嫁対策特別措置法に基づく値札表示及びレジの表示方法の変更と相当の費用と時間を費やしている。値札表示は総額、税別表示と各社各様であり、総額表示に戻る時が今から心配である。
- ◇**県南地区共同店舗**…降雪のため、売上が大きく減少。特に衣料品が低迷した。
- ◇**家電**…12月以降売上は毎月減少し、2月も全体的に10%以上減少。しかし水回り・リフォーム・暖房工事等の工事部門のウエイトが高い店舗に限れば1月より増加しており、前年比では50%近く増加している模様。家電品の大型化、省エネ型への切替により商品単価が高くなっている影響とみられる。消費税対策の前倒し購入はそれほど見られなかった。
- ◇**中古自動車**…2月のオークションは、協会設立40周年という記念月であった為、出品台数・成約台数共に大幅に増加し締めくくることができた。オークション手数料収入も対前年比28.9%増となった。
- ◇**石油**…原油価格が高値で推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で5円上昇しているが、販売量は減少し収益の改善は見られない。依然として組合員の仕入価格を下回るような安値販売競争が続いているため、廃止・休業に追い込まれる組合員が増加。
- ◇**ホテル旅館**…観光客をメインとしている施設は、風評がまだ続いている状態。鮎鱈料理のオンシーズンでも集客に苦労している。消費税増税前の駆け込みで工事関係者の宿泊が多く入っている。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車は94.4%、軽自動車は96.1%とともに微減。新車代替えによるものが要因。
- ◇**総合建設**…2/8の大雪で各社深夜から除雪作業にあ

- たったが、公共工事の減少に伴い作業員や機械を減らしてきた結果、調達できない状況が生じた。年度末の公共工事の工期満了日3/15に向け工事が追い込み状態。舗装などは天候の影響を受け大混乱。4月以降は各社工事量が減り、利益を確保できていない企業には経営の危機を迎えるところもありえる。
- ◇**交通安全施設**…インフレスライドによる施工単価の上昇に期待する。
- ◇**東北地区運輸**…主要顧客毎の出荷物量はバラつきがあり、総じて横ばいとなった。燃料価格は一服感があるも依然高止まりしており、収益は苦しい状況が続いている。
- ◇**県央地区運輸**…全体的に増税前の駆け込み需要のせいか、生活用品、食品、雑貨など平年は落ち込むものに動きがあった。ハウスメーカー、自動車部品などの動きも良く、昨年比10%ぐらいの伸びがあったようである。しかし軽油高のため経営は改善されず苦しいまま。

H26.2月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比	▲	前年同月比	▲
食料品業		▲ 66.7		▲ 50.0	
その他製造業		5.0		▲ 20.0	
卸売業		0.0		▲ 50.0	
小売業(商店街を含む)		▲ 18.2		▲ 36.4	
サービス業		0.0		0.0	
建設業		▲ 25.0		▲ 25.0	
運輸業		0.0		0.0	
全体		▲ 12.2		▲ 28.6	

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値



エコアクション21は、環境省が策定した中小企業にも取組みやすい環境経営システムです。

特定非営利活動法人『環境NPOいばらき』とは、

エコアクション21

「エコアクション21審査人」の茨城県内の有志で法人登録したスペシャリスト集団です。

事業等

1. エコアクション21の認証取得支援活動、並びにエコアクション21の普及活動
  2. エコアクション21審査人として、認証取得を希望する企業の相談、並びにコンサルティング活動
  3. エコアクション21審査人の育成教育
- ※「エコアクション21地域事務局いばらき(茨城県中小企業団体中央会)」の運営委員会の中に会員が委嘱され、エコアクション21の普及に努めています。

特定非営利活動法人環境NPOいばらき

\*連絡先: 所在地: 〒310-0836 水戸市元吉田町2649-21 代表者: 飛田 秀幸  
 TEL: 029-247-4064 FAX: 029-248-2958 / Email: BYA05445@nifty.com  
 H P: <http://kankyounpo-ibaraki.com/> 何なりとお気軽にござ報ください。お待ちしております。